

こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT【令和4年度実績】

元気スタイル1 「こども輝くまち」を創る

これまでの子育て支援に加え、「子育て」を力強く応援し、未来を担う子ども達が夢や希望を持ちながら、充実した教育環境のもとで目を輝かせて学び、心豊かにそしてたくましく成長できるまちを創ります。

1 暮らしと学びの応援創り

1 子ども未来応援施策の推進



【概要】

子どもの権利を尊重し、全ての子どもが未来に向けて夢や希望の実現に挑戦できる「こども輝くまち」を目指し制定した「甲府市子ども未来応援条例」の普及・啓発を図るとともに、条例に規定する3つの柱からなる「子ども未来応援施策」を展開していきます。（また、「子育て」の両輪である「子育て」支援のさらなる充実に取り組みます。）

【令和4年度実績】

- ・6月に「子ども応援会議」を開催し、各々の活動等について情報共有及び意見交換を行うなど、連携を深めた。
- ・7月23日に「夏休み子ども体験教室」を開催し、7つのプログラムへ延べ221名が参加した。
- ・子どもと舞台芸術大博覧会実行委員会と連携し7月30日から8月1日にかけて「子どもと舞台芸術大博覧会2022 in KOFU」を開催し、全25講演に2,850名が参加した。
- ・10月8日に舞鶴城公園自由広場及び南広場において、「子ども応援フェスタ」を開催し、延べ約5,000人が参加した。
- ・青少年相談室に寄せられた相談について、子どもの権利擁護委員に情報共有し、今後の対応について助言を貰うとともに、子どもの権利の侵害からの救済の申立てがあったことから、子どもの権利擁護委員による調査・調整活動を実施した。
- ・子ども応援プラットフォームの活性化策として、「子ども応援デリバリー事業」を創設した。
- ・ヤングケアラーに対する基本方針や相談体制、相談対応フロー等をまとめ、「子ども・青少年総合相談センター」の開設準備を行った。

2 子ども応援センターを核としたネットワークの構築



【概要】

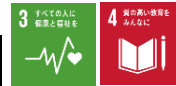
地域における子育て支援の担い手の育成や、学習支援等を含む子どもの交流・相談の場づくり等の活動を支援するネットワークの整備、市内小中学校を対象とした学用品等を中心にリユース事業の実施など、子どもが健やかに成長できる仕組みづくりを推進します。

【令和4年度実績】

- 子どもの交流・相談の場作りへの支援
- ・学習支援を兼ねた子どもの居場所づくり事業を142回開催する中で、98名の生徒、76名の児童、300名のボランティアの合計474名の利用があった。
- 学用品等リユース事業
- ・小学校2校・中学校9校から718品の収集を行い、前年度からの在庫を含めた791品の中から、延べ72世帯に215点を提供した。
- 空き家の活用
- ・補助制度利用者と情報共有する中で、概ね予定通りに工事が完了し、令和5年3月1日に子育て世代への支援、地域の交流やイベントを行う施設が開設された。

3

時代に即した学習の支援



【概要】

国際化・情報化（情報技術）などが進む中、世界で活躍できる人材や情報技術の知識・技能を習得した人材などを育成するため、高速大容量の通信ネットワークを整備するとともに、児童・生徒 1 人 1 台端末を整備するなど教育のICT化を進め、学習意欲の向上と、「主体的・対話的で深い学び」を推進します。

【令和 4 年度実績】

- ・1人1台端末の効果的な活用につなげるため、教職員の端末操作の支援やサポート業務を行うとともに、Google for Educationのパートナー自治体プログラムによる教職員のスキルアップ研修や児童生徒向けのジュニアICT研修等を開催した。
- ・ICT活用の意欲や可能性を高めるため、「ジュニアICTサミット」を開催し、他都市のジュニアICTリーダーと交流を行った。

4

学校環境の向上



【概要】

学校施設長寿命化計画を策定し、老朽化が進む小中学校の校舎やトイレを安全で衛生的かつ機能的な環境へと年次的に整備するとともに、通学路・避難路に面するブロック塀等の所有者に対して、ブロック塀等の撤去・改修工事費の一部を助成するなど、子どもたちの学習及び生活の場である学校施設等の環境改善を進めます。

【令和 4 年度実績】

①【小中学校 学校施設長寿命化計画】

- ・小学校1校、中学校1校のトイレリニューアル工事および小学校3校、中学校1校の校舎リニューアル工事を完了した。

②【私有ブロック塀等の撤去・改修費助成事業】

- ・市ホームページや広報に掲載を行うとともに、庁舎や公民館に掲示を行い啓発を図ったほか、戸別訪問による周知を行った。
- ・ブロック塀等に関する電話や窓口などの相談に対応し、6件の補助申請の受付を行い、年度内に14件の改善が図られた。

③④【学習指導員の配置、スクール・サポート・スタッフの配置】

- ・学校訪問及び面談を行ったほか、全体研修や新規任用者の採用活動等を行った。

⑤【学校給食費徴収に係る公会計化】

- ・令和4年4月から小中学校給食費を公会計化へ移行し、第1回給食費口座振替を6月末に実施するとともに、6月の納期からコンビニ収納を導入した。
- ・「甲府市学校給食物資納入業者登録制度」の構築にあたり、先進都市への聞き取り調査を実施した。

2 たくましさ創り

5 子ども運動遊びを推進するプレイリーダーの養成



【概要】

子どもの運動能力の更なる向上に向けた人づくりとして運動遊びを効果的に実践できるプレイリーダーや指導者の育成を図るとともに、プレイリーダーを介して保護者と子どもが運動遊びを体験できるイベントを開催し、子どもの健全な心身の成長を応援します。

【令和4年度実績】

- ・運動遊びプレイリーダー研修会は6回の研修会を実施することができ、83人が参加した。
- ・5月28日、親子運動遊び教室を実施し、25人の親子が参加した。
- ・10月8日開催の子ども応援フェスタにおいて、ポーネルドの遊具を利用した親子運動遊び体験の場を創出し、延べ約700人の親子が参加した。
- ・11月5日開催の甲府大好きまつり内で、親子運動遊び教室を開催し、117人の親子が参加した。

6 子ども運動遊び場の提供



【概要】

幼児教育センターなど既存施設を活用し、子どもの健全な心身の成長に必要な幼児期における「遊び」を中心とした身体活動をいつでも楽しめるよう「運動遊び場」を提供します。

【令和4年度実績】

- ・「子ども屋内運動遊び場 おしろらんど」1周年記念事業として、新たな遊具の設置やお菓子の記念配付、JR甲府駅との連携事業などを実施した。
- ・9月5日に利用者数5万人を達成し、セレモニーを実施した。

7 遊亀公園及び附属動物園の整備



【概要】

子どもがいきいきと元気に遊べる場として、また、子どもからシニアまで多くの市民が集い憩える場として、遊亀公園及び附属動物園を一体的に整備し、賑わいと交流を創出するとともに、より一層親しまれ誇れる動物園を目指します。

【令和4年度実績】

- ・公園第一期開園部整備工事を完成させた。また、4月末にオープニング式典を開催した。
- ・動物園の休園に伴い、休園約2週間前から入園無料期間を設定し、応援団が主催するアニマルマルシェと連携した休園前イベントを実施した。

8 子ども・若者の意見表明の場創出



【概要】

次代を担う若者が「甲府」について主体的に考え、夢や想いを伝える機会を創出することにより、市政への興味・関心を高め、将来的なまちづくりの担い手の育成へつなげるとともに、地域ぐるみで子育てを応援する機運の醸成や、子育てに関する取組のPRを図るため、子ども未来フォーラムを開催します。

【令和4年度実績】

- ・地域において子どもの育ちを応援する団体と連携し、令和4年7月23日に、7つのプログラムからなる夏休み子ども体験教室を開催し、115人の子どもと76人の保護者が参加した。
- ・青少年育成甲府市民会議との共催により3年ぶりに「21世紀を考える少年の主張大会」を開催（参加者71名）し、市内全15中学校代表からの意見表明の場を創出するとともに、市ホームページからも動画を配信した。

元気スタイル2 「健康といきがいのまち」を創る

市民一人ひとりが、住み慣れた地域で「いきがい」や「きずな」を大切にしながら、いつまでも健やかで活躍できる「元気 City こうふ」を創ります。

1 健康の好循環創り

9 健康支援センターの拠点機能の発揮



【概要】

市民の生涯を通じた総合的な健康づくりを進める「健康支援センター」が、その拠点機能を発揮し、健康づくりに関する教室を開催するなど、身近な地域で様々な保健事業や子育て支援事業を展開することにより、「ひと」、「地域」、「まち」の健康づくりを推進します。

【令和4年度実績】

- ・地域ごとの健康課題を抽出し、「あなたの地区の出張保健室」に向けた年間計画（31地区）を策定した。
- ・「あなたの地区の出張保健室」での健康教室を開催した。
- ・全市、各地域組織等での健康教育を実施した。
- ・「おいし食・楽しく・元気塾」「歯つらつ歯っぴーキャラバン」「シニア世代のためのいきいき教室」を開催した。
- ・個別患者支援計画に基づき、訪問または電話連絡等によるDOTS支援を実施した。
- ・「健康づくり同窓会」及び食生活改善推進員の研修でツールを活用した啓発を行った。

10 健康都市こうふの推進



【概要】

「健康都市宣言」における『市民一人ひとりが健康意識を高め、自ら健康づくりに取り組むとともに、地域においてつながりや支え合いをより一層深め、企業、行政がそれぞれ連携する中、まち全体で市民の心と身体の健康を支えていく』という考えのもと、市民・地域・行政が一体となった健康づくりを推進します。

【令和4年度実績】

- 健康政策推進事業
 - ・健康ポイント事業を実施し、夏と冬に健康ポイント通信を発行した。
 - ・健康リーダー養成事業を実施した。
 - ・健康チャレンジ表彰事業を実施し、表彰式を実施した。
- ひと・地域・まちの元気アップ促進事業
 - ・市民・企業等を対象とするヘルスチェック測定会(参加者 1,028名)を実施した。
 - ・測定会利用者が測定結果を閲覧できるアプリを構築した。
- 心の健康づくり対策
 - ・ゲートキーパー養成研修等を開催し、啓発を行った。
 - ・家族のつどいを開催した。

11

緑が丘スポーツ公園の再整備



【概要】

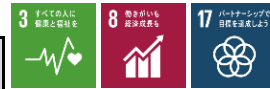
市民の健康増進・体力づくりに寄与し、生涯スポーツ活動の拠点となるよう、緑が丘スポーツ公園の再整備を計画的に行います。先行して、県が施工する緑が丘アクセス道路整備の影響を受けるテニスコート〔Aコート〕や、野球場と船出広場のそれぞれ一部を整備し、その他施設の更新を検討します。

【令和4年度実績】

- ・テニスコートAの整備工事に着手し、完了した。
- ・野球場及び附属設備の工事の適切な工程管理を行い、予定通り工事が進捗した。

12

地域・職域連携の推進



【概要】

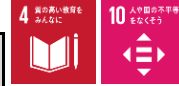
市内における小規模事業所（従業員50人未満）の従業員等を対象とした「生活習慣病等予防講習会」を実施するなど地域保健と職域保健との連携を深める中で、健康情報の共有や保健事業の共同実施などに取り組み、生涯を通じた健康づくりの充実を図ります。

【令和4年度実績】

- ・「生活習慣病等予防講習会」は5事業所、1団体に事業の周知も合わせて実施した。
- ・協会けんぽと情報交換や健康づくり推進協議会、中北地域・職域保健連携推進協議会へ参加協力した。
- ・中北保健所と情報交換し、実態把握の必要性等についての共有や、中核市としての中北地域・職域保健連携推進協議会への参画の仕方・役割について検討した。
- ・取り組むべき健康課題の把握、取組事項や評価方法について検討する実態把握のためのデータ分析を行った。

2 いきがいときずな創り

13 いきがいインフォメーションの推進



【概要】

市民が自分に合った「いきがい」を見つけ、充実した人生を送れるよう、市ホームページ上に特設サイトとして、「いきがいプラス」を開設し、市民にとってわかりやすく、選択ができ、活用できる各種セミナー等の情報提供を行います。

【令和4年度実績】

- ・公民館や他部局が実施する「いきがい」に資する事業の情報提供をした。（年度計：1,032件）
- ・実施した事業の活動報告を掲載した。（年度計：37件）
- ・放課後子供教室のページの作成及び発信を行った。

14 地域で支え合う福祉サービスの創設



【概要】

一人暮らし高齢者や認知症高齢者等が増加する中、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の実情に応じた地域包括ケア体制の構築に向け、住民をはじめとする多様な主体が参画した通いの場や生活支援などのサービスを充実させることで、高齢者の暮らしを地域で支え合うサービス提供体制づくりを進めます。

【令和4年度実績】

- ・第1層協議体（行政）の開催（2月）及び第2層協議体（市民・地域）の開催（相川、上九一色、甲運、玉諸、国母、朝日、千代田）、第2層協議体設置に向けた調整を行った。
- ・「笑顔ふれあい訪問サポート」（訪問型サービスB）の運営、事業の周知、生活支援サポーター養成講座・フォローアップ講座の開催、生活支援サポーターを含む関係者との情報交換会の開催等を行った。
- ・「笑顔すこやか通所サークル」（通所型サービスB）の実施を希望する団体への活動立ち上げに向けた打合せ等を実施した。

15 防災リーダー等の育成



【概要】

防災活動の中心的な役割を担う自治会役員や地元住民に加え、新たに民間企業の従業員や外国人市民に対して積極的に働きかけを行い、防災リーダーとして育成・登録し、災害時に地域で活躍できる幅広い人材を確保します。また、自主防災組織と連携した防災活動を行うことで、自治会、企業、外国人市民が一体となり地域のきずなを強めるとともに、事業所等における防災士資格の取得の支援により、更なる地域防災力の向上を図ります。

【令和4年度実績】

- ・平日夜間にも研修会を開催し、計87名の防災リーダーを登録した。
- ・令和5年1月に防災リーダー登録者へ講演会やAEDを用いた救命講習のフォローアップ研修会を実施した。
- ・防災士の資格取得支援に伴い、山梨県に対し23名の推薦を行った。
- ・防災士の資格取得支援に伴い、自治会からの推薦者6名への助成を行った。

元気スタイル3 「女性生きいきのまち」を創る

個性や能力を活かしながら、職場、地域、家庭など様々なステージで活躍する女性を応援し、それぞれが思い描くライフスタイルを実現できるまちを創ります。

1 活躍創り

16 「日本女性会議2021 in甲府」の開催



【概要】

市民と産学官が連携・協働して取り組む中で開催した2021年の日本女性会議を踏まえ、男女共同参画意識の一層の醸成を図るとともに、女性活用の更になる促進に向けた取組の展開を図ります。

【令和4年度実績】

- ・日本女性会議で洗い出された課題と、その課題解決に向けた検討事項等について意見交換を行う「こうふまちづくりラウンジ」を開催した。
- ・甲府市男女共同参画審議会を開催し、次期「こうふ男女共同参画プラン等」を策定した。

17 女性たちで創るマルシェの実施



【概要】

「マルシェ」を通じて女性の活躍と交流の場を創出するとともに、夢を叶え起業した女性や、起業を目指して活動している女性たちの姿を「男女共同参画フォーラム」等において広く市民に知っていただき、多くの女性を応援する機運を高めます。

【令和4年度実績】

- ・こうふ女性達で創るマルシェ（イベント形式）を信玄公まつりと同時開催し、女性活躍の場を創出した。（62店舗出店、来場者8,748人）
- ・オンライン形式のマルシェを開催し、28店舗の出店があり、前年度を上回るサイト閲覧数（11,688プレビュー）となった。

18

「こうふまちづくりラウンジ」の実施



【概要】

市内で活躍する様々な分野の女性たちが集い交流する機会「こうふまちづくりラウンジ」を提供し、女性の視点や感性でまちづくり等をテーマに意見交換を行うとともに、参加者相互の連携を促進し、ネットワークの形成を図っていきます。

【令和4年度実績】

- ・令和4年度委員を11名選定した。
- ・6月に令和4年度の委嘱状交付式及び第1回ラウンジを開催し、日本女性会議で洗い出された課題とその課題解決に向けた検討事項等を説明するとともに、委員同士による意見交換を行った。
- ・第2回～4回ラウンジでは、グループワーク等により積極的な意見交換を行い、5つの提言（案）を作成した。
- ・第5回～7回ラウンジを開催し、市長へ5つの提言として挙げられるよう、準備及び調整を行った。
- ・第8回ラウンジでは、5つの提案を市長へ渡し、市長と委員とで積極的な意見交換を行った。

2 ライフ・デザイン創り

19

女性活躍等に係る提案支援



【概要】

女性活躍等の普及・啓発に取り組んでいる市民団体等から、ワークライフバランスや女性の就業・起業など女性の活躍に係る企画事業を募集し、効果や成果が期待できる事業の実施に要する経費の一部を助成することで、女性の多彩な活躍をアシストするとともに、「甲府市女性活躍支援サイトなでしこプラス」を活用し、その取組を発信していきます。

【令和4年度実績】

- ・10月7日～10月25日までの企画提案事業の募集において申請が1件あった。
- ・採択事業を決定し、採択した事業に対し補助金を交付することで、女性の多彩な活躍をアシストした。

20

女性の就業・起業の応援



【概要】

継続した起業研修会の実施や資金調達面での支援など、女性による起業を後押しするとともに、合同企業説明会において、再就職を希望する女性と企業にマッチングの場を提供し、女性の再就職を支援します。

【令和4年度実績】

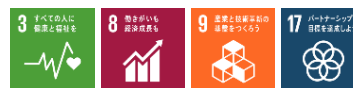
- ・女性のための起業等支援セミナー「Can-Pass」を開催した。
- ・先輩起業家の見学会として、オンライン見学会を行った。
- ・過去のセミナー受講者を含めた交流会を開催した。
- ・女性おうえん資金について、金融機関等に周知を行い、6件の申請があった。
- ・就職を希望される子育て中の方を対象とした労働セミナーを令和4年12月12日に開催し、6名の参加があった。

元気スタイル4 「潤いと活力あるまち」を創る

地域資源の魅力や地場産業の競争力を高めて、人や新たな産業を呼び込むとともに、リニア時代を見据えた都市基盤の整備や、安全安心な地域づくりを進め、賑わいと活力があふれるまちを創ります。

1 地域産業・未来産業創り

21 キャッシュレス化の推進



【概要】

キャッシュレス決済事業者や民間事業者、関係機関等と連携してキャッシュレス化を推進し、本市におけるキャッシュレスの取組を誘引・活発化させることで、商業の活性化や市民の利便性の向上を図るとともに、インバウンドをはじめとする観光の振興を図ります。

【令和4年度実績】

- ・キャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーンを8月と9月の2か月間にわたり実施し、QRコード決済の普及と市内の消費喚起を図った。
- ・引き続きキャッシュレス決済の普及促進につなげるため、今回のキャンペーンで得られた事業者や利用者の属性の検証を行った。

22 販路開拓の支援



【概要】

地場産品に係る海外トップセールスやプロモーション活動を実施するとともに、事業者が国内外の展示会等へ出展する際の支援、海外販路開拓等を行う際の基本事項等を学ぶセミナーの斡旋、甲府市産業支援サイトを活用した情報発信を行うなど販路開拓を支援し、地場産業の振興を図ります。

【令和4年度実績】

- ・山梨県水晶美術彫刻組合や山梨県水晶宝飾協同組合が国内での展示会に出展した際に補助を行った。
- ・タイ国大使館より9月にバンコクで開催された「バンコクジェムズ・ジュエリーフェア」での、P Rブースの無償提供を受けたことから、山梨県水晶宝飾協同組合が行う「宝石のまち甲府」や「山梨ジュエリーフェア」のP R事業に対して補助を行った。
- ・「甲府盆地カレー」「富岡葡萄園濃縮葡萄液」「オビナビール」と「甲州黄金色2022」を甲府之証に認定し、市ホームページや甲府市産業支援サイトで周知した。
- ・ゼロ山梨と連携してセミナーを開催し、事業者の海外販路開拓を支援した。

23

観光客の誘客促進



【概要】

本市の観光振興施策の指針となる第3次観光基本計画を推進する中で、本市の観光資源である歴史、ワイン、ジュエリー、伝統、そして昇仙峡や甲府名山などを最大限活用して外国人を含む観光客を誘引する施策を実施し、交流人口の増加による観光振興と地域の活性化、本市の認知度の向上を図ります。

【令和4年度実績】

- ・昇仙峡の日本遺産と名勝100年、特別名勝70年を周知するラッピング高速バスを運行した。
- ・観光庁の補助事業として、マウンテンバイクコースの整備、モニターツアーを実施した。
- ・観光客誘致促進ティアップ事業（るぶ甲府グルメプラス）やインバウンド向け広告事業（CNNJへの動画配信）を実施した。
- ・観光タクシーの実施及びバスを活用した誘客促進事業の実施を行った。
- ・甲府×YAMAP「山のぼり・まち歩き」キャンペーンを実施し、6,712名が参加するとともに、1,409名がコンプリートバッジを獲得した。また、キャンペーン及び本市紹介記事の閲覧数が計187,800PVに及んだ。
- ・湯村温泉郷名称看板の設置（既存看板の撤去、新設工事）や湯村山への烽火台の整備を行った。
- ・甲府に泊まろうキャンペーンを実施した。

24

新産業・未来産業の立地促進



【概要】

新たな成長産業や未来産業を見据え、企業の動向及び進出ニーズ等のリサーチを行う中で企業を訪問し、情報交換を行いながら、特定機能補強地区を中心に民間開発を視野に入れた産業立地を促進します。併せて、受け皿となる事業用地確保のための仕組み等を構築し、企業立地を支援します。

【令和4年度実績】

- ・県内企業に訪問して得た規模拡大や新規事業を検討している県外企業の情報をもとに、県外企業に訪問し、本市の優遇制度の説明とともに設備投資計画等について情報交換を行った。
- ・規模拡大や新規事業を検討する好況企業から、立地相談を受けた。
- ・セミナーを2回、ビジネスマッチングイベントを1回開催した。

25

農業振興の推進



【概要】

「甲府市農業振興計画」に掲げる産地の保全と強化に向けて、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農作業の省力化や効率化を図るスマート農業の普及を促進するとともに、新規就農者等の確保・育成に取り組みます。

【令和4年度実績】

- ・気象観測データの蓄積、活用を行った。
- ・パワーアシストスーツ及び電動剪定ハサミの貸出を行い、普及を図った。
- ・ドローンによる農薬散布の実証を行った。
- ・農業体験支援事業及び新規就農者応援隊支援事業を実施した。
- ・国・県事業を活用した新規就農者確保・育成施策を実施した。

2 未来へと続く住みよい暮らし創り

26 リニア新時代を見据えた都市環境の創出



【概要】

人口減少・少子高齢社会等の社会的課題を踏まえ、リニア開業効果を最大限享受し、豊かな自然を活かした潤いのある生活環境と活力ある都市環境の共生につなげるため、「甲府市リニア活用基本構想」に基づくまちづくりプロジェクトを推進します。

【令和4年度実績】

- ・15のまちづくりプロジェクトに係る41の取組について、進捗状況の管理を行った。
- ・駅前のみちづくりについて3つの方向性を公表した。
- ・ディベロッパー等の民間企業に対して、駅南側エリアのみちづくりへの参画の可能性等についてサウンディング調査を実施するとともに、まちづくりアドバイザーとして学識者らと意見交換等を行った。
- ・リニア近接地域の市街化区域編入や企業誘致について、県と協議を行った。

27 都市計画道路の整備



【概要】

未整備の都市計画道路を効率的、効果的に整備するため、「都市計画道路整備プログラム」に基づき、順次事業化を図ります。

【令和4年度実績】

- ・城東三丁目敷島線（伊勢工区）において、用地取得へ向け準備を進めた。
- ・住吉四丁目善光寺線（善光寺工区）において、詳細設計業務の成果をもとに、地元住民説明会に向け準備を進めた。
- ・高畑町昇仙峡線（池田工区）において、詳細設計業務の成果をもとに、地元住民説明会に向け準備を進めた。

28 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成



【概要】

将来にわたって市民の移動手段を確保し、安全で快適な生活環境を形成するため、「甲府市地域公共交通網形成計画」に基づく施策を中心に、課題解決に向けた取組を進め、持続可能な公共交通ネットワークを形成します。

【令和4年度実績】

- ・サイクルアンドライド駐輪場設置施設及びバス縁地について、それぞれ2施設を新たに追加するとともに、エコ通勤デー参加協力事業所新たに4社認定した。
- ・ユニバーサルデザインデザインタクシー補助について、申請を3件（3台）受け付けた。
- ・代替バス運行及び宮本・能泉地区並びに上九一色・中道地区コミュニティバス運行を行った。
- ・原油高等で厳しい状況にある公共交通事業者等に対し、運行継続のための支援を行った。

29

防災拠点の整備



【概要】

災害応急活動に応じた機能を複合的に有する防災活動の拠点（下飯田防災用地）を整備し、大規模災害時における対策の充実に図るとともに、地域防災力の中核を担う消防団の本部拠点（甲運分団本部拠点施設・北新分団本部拠点施設）を整備し、地域コミュニティにおける防災力の強化を図ります。

【令和4年度実績】

- ・甲府市消防団北新分団本部拠点施設建設に伴う、実施設計、地質調査及びアスベスト調査を完了した。

30

地域防災力の強化推進



【概要】

地域住民が協力し合い、助け合う「自助」と「共助」の更なる充実・強化を図るため、地区防災計画のアフターフォロー、将来地域の担い手となる子どもたちへの防災教育、外国人市民に対する防災研修会などを実施するほか、水害対策として地域の水害避難マップやマイ・タイムラインを活用した地区研修会などの取組を実施します。また、「液体ミルク」や災害時貸出用等の「スコップ」の新たな備蓄や想定浸水深看板の設置の取組、「わが家の防災マニュアル」のリニューアルや「洪水ハザードマップ」の周知など、引き続き地域防災力の強化推進を図ります。

【令和4年度実績】

- ・乳児用液体ミルクについて更新を行い、予定数となる200本の非常用貸出用スコップを購入し、備蓄を行った。
- ・子どもBOUSAI教育こふを30校（小学校22校、中学校8校）で実施し、実施できなかった6校についてはフォローのため、防災動画（DVD）を配布した。
- ・外国人市民に対する防災研修会を1月に国際交流センターで実施した。
- ・水害避難の地区研修会を年間17地区で実施した。
- ・地区防災計画に水害避難計画を追加できるよう、水害避難の地区研修会を通じて作成方法の周知を行った。

31

地球温暖化対策の普及促進



【概要】

環境問題の課題解決のため、全ての世代が環境に関する正しい知識を持ち、興味や関心を高め自ら行動に移せるよう、年齢に応じた環境教育を進め環境保全意識の醸成に取り組むとともに、クリーンエネルギーの更なる普及促進や、ごみの減量に向けた取組も進めます。

【令和4年度実績】

《後期》

①環境教育

- 幼稚園・保育所：6園 ●小学校（放課後児童クラブ含む）：23校 ●中学校：2校 計31回

②廃棄物の減量化・再資源化の推進

- ごみへらし隊…出前講座：20回 ●工場見学：9回 計29回

③クリーンエネルギーの普及促進

- 助成…クリーンエネルギー機器：124件 電気自動車：38件 計162件

元気スタイル5 「故郷が好きなまち」を創る

開府500年を契機に甲府市の宝である歴史や伝統・文化等を未来にしっかりと継承するとともに、未来を託す人材（人財）の育成や地域資源の掘り起こしなど新たな宝を創造し、故郷こうふを大切に思うまちを創ります。

1 こうふ愛創り

32 故郷こうふの学びの推進



【概要】

甲府の重層的で多様な歴史・伝統・文化等を再認識する「私の地域・歴史探訪」や、次の時代を担う子どもたちが甲府について自ら学び、自らの言葉で発表する「ラーニング・スピーチ」を展開し、「故郷こうふ」への誇りと愛着を育み、未来に向けたひとづくり・まちづくりに繋げていきます。また、小学校における社会科教材「私たちの甲府市」を改訂し、子どもたちの郷土愛の育みを支援していきます。

【令和4年度実績】

- ・「私の地域・歴史探訪」を12回開催した。（散策会10回、（語らいの場2回）
この他、教育部と連携した散策会を7回、教育部関連の歴史講座等を年間73回開催した。
- ・「甲府ラーニング・スピーチ」を実施した。（こうふ開府の日記念 こうふドリームキャンパススペシャル こうふ夢コンサート、JICA青少年教育プログラム）
- ・社会科資料集「わたしたちの甲府市」を令和5年3月10日に市立小学校25校へ配布した。

33 「甲府市の歌」の普及



【概要】

学校、地域、様々なイベントや各種団体の活動の場など、本市を象徴する歌である「甲府市の歌」を歌う機会を増やし、「甲府市の歌」の普及を図る中で、市民の一体感や郷土愛を更に育んでいきます。

【令和4年度実績】

- ・夏休み期間（8/1～8/20）限定で、次世代甲府大使魚田愛音さんの「甲府市の歌」のピアノ演奏の音源を防災用行政無線「夕方5時のチャイム」で放送し、郷土愛を深める機会を創出した。
- ・次世代甲府大使魚田愛音さんの「甲府市の歌」のピアノ演奏と中・高生の合唱および吹奏楽部の演奏の音源を収録した。
- ・小中学校並びにインターネット調査により、認知度アンケート（認知度・歌える度）を実施した。

34 新たなプロモーション発信ツールの創造



【概要】

市政情報、市民の活動や活躍、産物の紹介、観光スポットなど従来の様々なコンテンツに加え、SNS活用世代をターゲットに、若者に向けた動画やメッセージ性の強いPR動画など、よりリアルタイムに、よりキャッチーな情報を発信するとともに、直接、県外各地の自治体等を訪問し、人と人のふれあいの中「フェイスtoフェイス」で甲府ブランド（産物、施策など）を積極的にプロモーションするなど、新たなツールの創造によりプロモーション効果を高めます。

【令和4年度実績】

- ・LINEにおいては、「セグメント配信」を利用し、必要な情報のみを受け取れる効果的な情報発信を行うとともに、「予約機能」を活用することにより利便性を高め、友だち登録者数を増やした。（登録者：4,991人増）
- ・「甲府之証」やイベントを紹介する動画など、動画配信コンテンツを増やした。（年間108本配信）
- ・「フェイスtoフェイス」（試行）のプロモーションを実施した。（浜松市）

2 新たな宝創り

35 歴史を感じられる甲府城エリアの整備



【概要】

「お城がつなぐまち甲府城周辺地域」をコンセプトとした「甲府城周辺地域活性化基本計画」に基づき、賑わいの創出及び中心市街地の活性化を図る中で、風格のある、歩いて楽しい歴史を感じられる空間づくりを行います。

【令和4年度実績】

- 甲府城周辺地域活性化計画整備事業
 - ・「小江戸甲府 城下町整備プラン」を策定公表した。
 - ・旧甲府税務署跡地における交流施設及び交流広場の設計業務を発注した。
 - ・社会福祉会館(社会福祉協議会)の解体工事を発注し、地上部の解体を概ね完了した。
 - ・交流施設及び広場の仕様・導入機能の検討のため、サウンディング調査を行った。
- 甲府城北側・東側の景観形成
 - ・景観まちづくりやファサード整備への国庫補助金の活用に向けて、山梨県景観づくり推進室担当者と協議を行った。
 - ・景観まちづくりの進め方について、山梨大学との打ち合わせを行った。

36 史跡等を巡る「散策ルート」の創出



【概要】

国史跡の武田氏館跡・要害山・甲府城跡を巡る新たな散策ルートを創出し、甲府の歴史・文化・伝統の魅力を市民や来訪者に発信することで甲府の歴史的ブランド力を高めるため、各史跡とその周辺にある文化財を紹介するマップや、説明板等のサインを作成し、信玄ミュージアムなどを拠点に周遊を促進する仕組みを作ります。

【令和4年度実績】

- ・武田城下ぶらり歴史探訪として、史跡要害山の散策会を山梨県立大学の協力のもと実施した。
- ・武田城下町南部の満蔵院等の寺社に加え、史跡甲府城跡の散策会を実施した。
- ・青少年ジュニアリーダー研修会として、家臣屋敷及び史跡武田氏館跡の散策会を実施した。
- ・松本市歴史文化財調査委員会の現地視察として、史跡武田氏館跡の案内を実施した。

37 「ドリームキャンパス」の推進



【概要】

未来を託し次代を担う人材の育成に向けて、甲府大使や甲府にゆかりのある著名人、地域で活躍する匠などを「夢の先生」に迎えて授業を行い、多く子どもたちに夢を持つことの素晴らしさ、大切さを伝える「ドリームキャンパス」を開催します。

【令和4年度実績】

- ・こうふドリームキャンパスを31回実施した。
- ・コロナ禍においても、全校児童・生徒での実施や実技・体験等を取り入れた形で授業を行った。

38 甲州人の活躍や歴史などを伝える「語り部こうふ」の創出



【概要】

信玄ミュージアムボランティアガイドが「語り部」となり、信玄ミュージアム等を拠点として本市の歴史・文化・伝統を市民や県外からの来訪者に伝え、歴史的魅力を次世代に継承していくとともに、来訪者等を介して本市の歴史や魅力を全国に発信します。

【令和4年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響から休止していた歴史ガイド活動を、感染者数が少ない時期に一部再開した。
- ・ボランティアガイド再開に向けて4月に2回、8月に2回研修会を実施した。
- ・新規ボランティアガイドの募集案内を市HP等に掲載した。

元気スタイル6 「世界がつながるまち」を創る

国際教育の充実により国際感覚のあるグローバルな人材を育成するとともに、外国人留学生やインバウンドによる地域活力の増進を図り、世界から人が集まるまちを創ります。

1 グローバルな人材創り

39 地域国際交流の推進



【概要】

国際交流アンバサダーや多様な主体と連携した国際交流機会の創出等により、出前講座や外国人留学生との交流イベントなど幅広い世代で国際交流活動を活発に行うことで、市民の国際理解と国際感覚の醸成を図ります。

【令和4年度実績】

- ・フランス文化講座を開催するほか、SNSや新聞等を活用し、観光スポット等本市の魅力が多言語により世界各地へ情報発信を行った。
- ・市のPR動画を作成し、国内外に向け情報発信を行った。
- ・本市を含む姉妹都市等とのPR動画を作成し、市ホームページに掲載した。
- ・「グローバルフェスタ2022」にフランスの子供向け遊び「缶くずし」を出展し、フランス文化に触れる機会を創出した。

40 国際教育の推進



【概要】

保育所や放課後児童クラブ等へ留学生等を派遣して読み聞かせを行うなど、外国語や異文化に触れ合う機会を創出し、幼少期から外国語への興味を抱かせるとともに、外国人留学生による英会話教室など各年代に合わせた国際交流活動を通じて国際性豊かなグローバル人材の育成に取り組みます。また、外国語指導助手（ALT）を活用し、小中学校での国際教育を推進していきます。

【令和4年度実績】

- ・外国人留学生と市内高校生による交流事業の実施へ向けて各大学や高校との協議を進めた。
- ・「こつふはっこう探訪ツアー」を3月4日に開催し、外国人留学生と甲府商業校生が宝飾・ワイン製造事業者、はっこうマルシェの見学等を通じて交流を深め、本市の地場産業への興味を喚起した。
- ・ジュニアリーダーを対象に、国際交流員による異文化理解をテーマとした研修を実施し、市内の中高生が参加した。

2 海外活力による賑わい創り

41 東京2020オリンピック事前合宿とホストタウン交流の推進



【概要】

東京2020オリンピックにおけるフランス卓球・レスリングチームの事前合宿の受入れを行い、選手が本大会に集中して臨めるよう環境を整える中で、スポーツの振興とともに日本文化の発信とインバウンド観光の促進に繋がっていきます。

【令和4年度実績】

- ・レガシー大会（卓球）が8月27日に開催され、開会式にて、フランス卓球選手からの激励メッセージ動画を放映するとともに、レガシー大会優勝チームのコメント動画をフランス卓球連盟に送付した。
- ・フランス卓球連盟との、令和5年度のレガシー大会の開催に向けた協議を行った。また、フランスレスリング連盟とも今後の交流について協議を行った。

42 外国人留学生の応援



【概要】

外国人留学生を様々な場面で応援することにより、海外から多くの留学生を呼び込み、定住促進や地域経済の活性化を図るとともに、外国人留学生のネットワークを活かした国内外への情報発信力の向上によって交流人口の増加を目指します。

【令和4年度実績】

- ・甲府市国際交流推進補助金により、山梨大学及び山梨学院大学が実施する留学生誘致活動や地域との交流事業を支援した。
- ・留学生による情報発信の促進や企業見学ツアー・就職ガイダンスの支援など、多くの留学生の呼び込みにつながる取組を進めた。

43 外国人を対象とした就業機会の創出



【概要】

産業人材として活躍する機会を創出するため、市内での就職を希望する留学生をはじめとする外国人が、市内企業に就職できるよう、合同企業説明会を実施し、外国人の就業と企業の雇用確保を支援します。

【令和4年度実績】

- ・外国人を対象とした就職ガイダンスの開催に向けて、ホームページ等の活用やチラシ配布による広報活動を行った。
- ・ハローワーク甲府管内の5市1町共催により、外国人就職ガイダンスを令和4年10月8日に開催した。
- ・山梨大学との連携により2月14・15日に留学生を対象とした「企業見学バスツアー」を開催した。

元気スタイル7 「タフで優しい市役所」を創る

中核市甲府の役割を果たせる人材の育成と持続可能な行財政運営を進めるとともに、市民に寄り添い、市民と協働のまちづくりを推進し、市民に信頼される市役所を創ります。

1 成長する人材と組織創り

44 民間企業などの職務経験者等の活用



【概要】

民間企業や公的機関で培われた知識や経験を市政に活かせる人材を採用し、「経営感覚」や「顧客重視」の発想などを職員に浸透させ、職員の意識改革と組織の活性化により更なる市民サービスの向上を図ります。

【令和4年度実績】

- ・民間企業等職務経験者にかかる募集要項を作成し、周知・募集（8/24～9/26）を行い、第1次試験（10/15）、第2次試験（11/12）を実施した。
- ・第1次試験は県外受験者の利便性向上に向け、全国7都市のテストセンター会場においても試験を実施した。
- ・先進自治体の事例研究を行った。
- ・職務経験者等採用職員のフォローアップと効果の検証を行った。

45 先進都市派遣研修等を活用した自律型人材の育成



【概要】

先進事例の研修や視察をなお一層充実させ、新しいノウハウの修得や職員意識のイノベーションを図ることにより、前例に捉われない柔軟な発想や意欲を持ってチャレンジできる自律型人材（人財）の育成に取り組みます。

【令和4年度実績】

- ・「人材マネジメント部会」へ職員3名を派遣し、オンライン研究会へ参加したほか、対面による研究会へ参加し、共同論文を作成した。
- ・提案参加型研修等による「先進事例視察研修」を実施した。（松阪市・八王子市）

46 キャリア・スキル（実績・実力）重視の人事制度



【概要】

職員が、自らの志向や適性を活かし、やりがいを感じながら職務に精励できる環境を整えるとともに、昇任試験制度の見直しや人事評価結果を活用し、キャリア・スキル（実績・実力）を重視した昇任や適材適所への配置を行うことで、市民ニーズへの的確な対応とサービスの向上を図ります。

【令和4年度実績】

- ・キャリアアップ制度（試行）の2023年度実施のため、人事異動方針により公募し、1名を人事異動で配置した。
- ・国の人事評価制度の改善内容の検証及び新人事評価制度の見直し案の作成に着手した。
- ・課長昇任試験、主幹制度の見直し準備及び昇任制度の一体的な見直し案の作成に着手した。

47

執行体制の最適化の推進



【概要】

内部組織を統制する仕組みの充実を図るとともに、現場主導の業務改善を推進し、各職場及び職員が事前に対策を講じる積極的な（プロアクティブな）行動を促すことで事務の適正な執行を確保し、市民の期待と信頼に応える、質の高い行政サービスを継続的に提供します。

【令和4年度実績】

- ・超過勤務の多い職場に対しアリングを実施した際に業務改善ガイドラインについて周知を行った。
- ・全庁でのリスクの見直しを行った。
- ・職員提案制度を実施した。
- ・職員の流動措置についての相談や支援を行った。
- ・業務サポート任期付職員制度による職員の配置や効果の検証を行った。

2 協働して未来に進む市政創り

48

市民活動の支援と応援



【概要】

協働によるまちづくりを支援する拠点施設として「甲府市協働支援センター」を設置し、地域で活躍する方の創出や、市民活動の活性化を図るとともに、地域の課題解決や強みを活かした地域づくりに向けて市民、行政、自治会をはじめとする各種団体、NPO・ボランティア団体、事業者などの多様な主体が協働して地域課題を明らかにし、解決に向けて取り組むことができるよう支援します。

【令和4年度実績】

- ・「地域が主体となって行う地域課題の解決に向けた取組」への支援として、7地区の支援を実施した。
- ・感謝状贈呈要綱を新設し運用を開始した。
- ・ボランティア相談窓口を山梨学院大学に出張開設した。（15名登録）
- ・「まちづくりコーディネーター」育成講座を新規開設した。（全4回）

49

データの活用方法の確立



【概要】

ICT技術の進展によるデータ活用が容易になったことから、過去のデータから個人の健康問題を予測した予防型のサービスを展開するなど、積極的なデータ活用とデータに基づく施策形成に取り組みます。

【令和4年度実績】

- ・学校給食献立表、観光イベント情報一覧をオープンデータとして本市HPに掲載した。
- ・地域情報化アドバイザー派遣制度を活用した職員研修の実施検討を行った。

50

行財政の改革と更なる財政健全化



【概要】

人口減少・少子高齢化が進行する中、市民サービスの持続性を確保するとともに、更なる行政サービスの向上を図るため、選択と集中によるスクラップアンドビルドにより一層の行財政改革を進め、効率的で健全な自治体運営を確立します。

【令和4年度実績】

○歳出抑制

- ・「観光振興に係る財務事務の執行について～開府500年記念事業を中心として」を包括外部監査の監査テーマとし、外部監査人によるヒアリングを実施した。
- ・行政評価の結果を予算編成へ反映した。

○歳入確保

- ・低未利用資産の有効活用として、8件の公募等を実施した。
- ・クラウドファンディングを募集・実施した。
- ・ネーミングライツを募集・実施した。

51

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進



【概要】

市民サービスの在り方や行政業務について、デジタル技術を前提とした仕組みへとリデザインし、効率的な行政運営体制への転換と、Society5.0時代にふさわしい高度で迅速な市民サービスの展開に繋がります。

【令和4年度実績】

- ・テレワークの実証実験を実施するなかで、課題の整理と運用ルールの検討を行った。
- ・デジタル行政手続きガイドについて、市HPや転入者にチラシを配布する等周知を行った。
- ・遠隔手話サービスの提供を行った。
- ・AI-OCR及びRPAを選定した7業務に対して試行導入した。